

化粧品に含まれている主な「美白」成分

各種メーカーが^{*}医薬部外品及び化粧品に美白有効成分として、美白ケア商品に配合している主な原料です。

※薬事法により、化粧品はドクターズコスメでも効能をうたうことはできませんが、医薬部外品は「日焼けによるシミ・そばかすを防ぐ」のような効能書きを明記してうたうことができます。

◆アルブチン

洋ナシやコケモモなどの植物にも含まれている。美白に効果のあるHQ（ハイドロキノン）の誘導体。

メラニンの生成をおさえる効果があります。

◆エラグ酸

イチゴから発見された成分で、ポリフェノールの一種。チロシナーゼ抑制に効果があります。

◆コウジ酸

味噌やしょう油に使われるコウジ菌でつくられた成分。

チロシナーゼ抑制に効果があります。

◆エナジ-シグナル AMP

アミノ酸の一種であるアデノシン-リン酸を肌に吸収されやすいかたちにした成分。

メラニンの生成をおさえる効果があります。

◆カモミラ ET

カモミールの葉を原料とする成分。

メラノサイトの増殖を抑える働きがあります。

◆グラブリジン（油性甘草エキス）

かんぞう甘草という生薬から抽出される成分。

消炎作用があります。

◆HQ（ハイドロキノン）

欧米では「美白 = HQ」と言われるほど一般的で、イチゴ類、紅茶、海洋生物種に含まれている成分。

チロシナーゼ抑制効果、メラニン色素の合成をおさえ、還元する効果があります。

◆SHQ-1

HQを低刺激で皮膚への負担を少なくした成分。

チロシナーゼ抑制効果、メラニン色素の合成をおさ

え、還元する効果があります。

◆ビタミンC誘導体

ビタミンCを安定化させて、肌が吸収しやすいかたちになったビタミンC。

メラニンの生成をおさえる効果があります。

◆プラセンタエキス

動物（豚など）の胎盤から抽出された成分。

保湿、チロシナーゼ抑制に効果があります。

◆マグノリグナン

生薬として使われてきた白モクレンの樹皮「厚朴^{こうぼく}」をモデルにつくられた成分。

チロシナーゼ酵素の働きを阻害し、メラニンの生成力を失わせる働きがあります。

◆m-トラネキサム酸

アミノ酸の一種で抗炎症剤のトラネキサム酸を美白成分として作られた成分。

肌荒れの改善や予防効果があります。

◆リノール酸

紅花油などから抽出される成分。

チロシナーゼ抑制に効果があります。

◆ルシノール

モミの木に含まれる成分をモデルにしてつくられた成分。メラニン生成を阻止し、チロシナーゼ抑制に効果があります。

◆D-メラノ

ナイアシン（ビタミンB₃）の一種の成分。

メラニンの過剰生成の抑制に効果があります。

◆ロドデノール

白樺の樹脂に含まれている成分。

メラニン生成の抑制に効果があります。